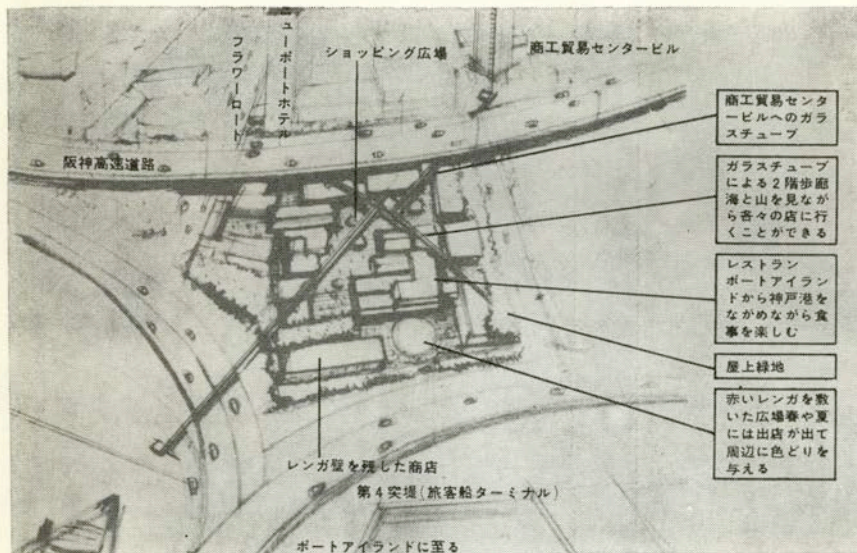


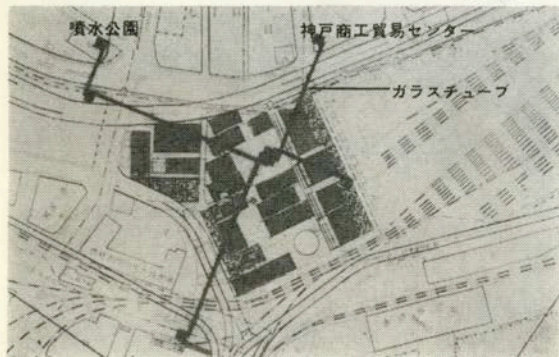
● 特集 / 神戸のアーバンデザイン ③⑥—未来編— 海 ●

シーサイドショッピング——チーム・UR



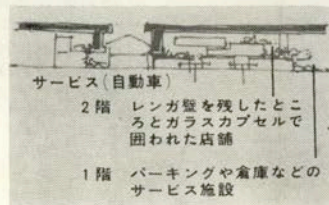
▲スケッチ

▲プラン



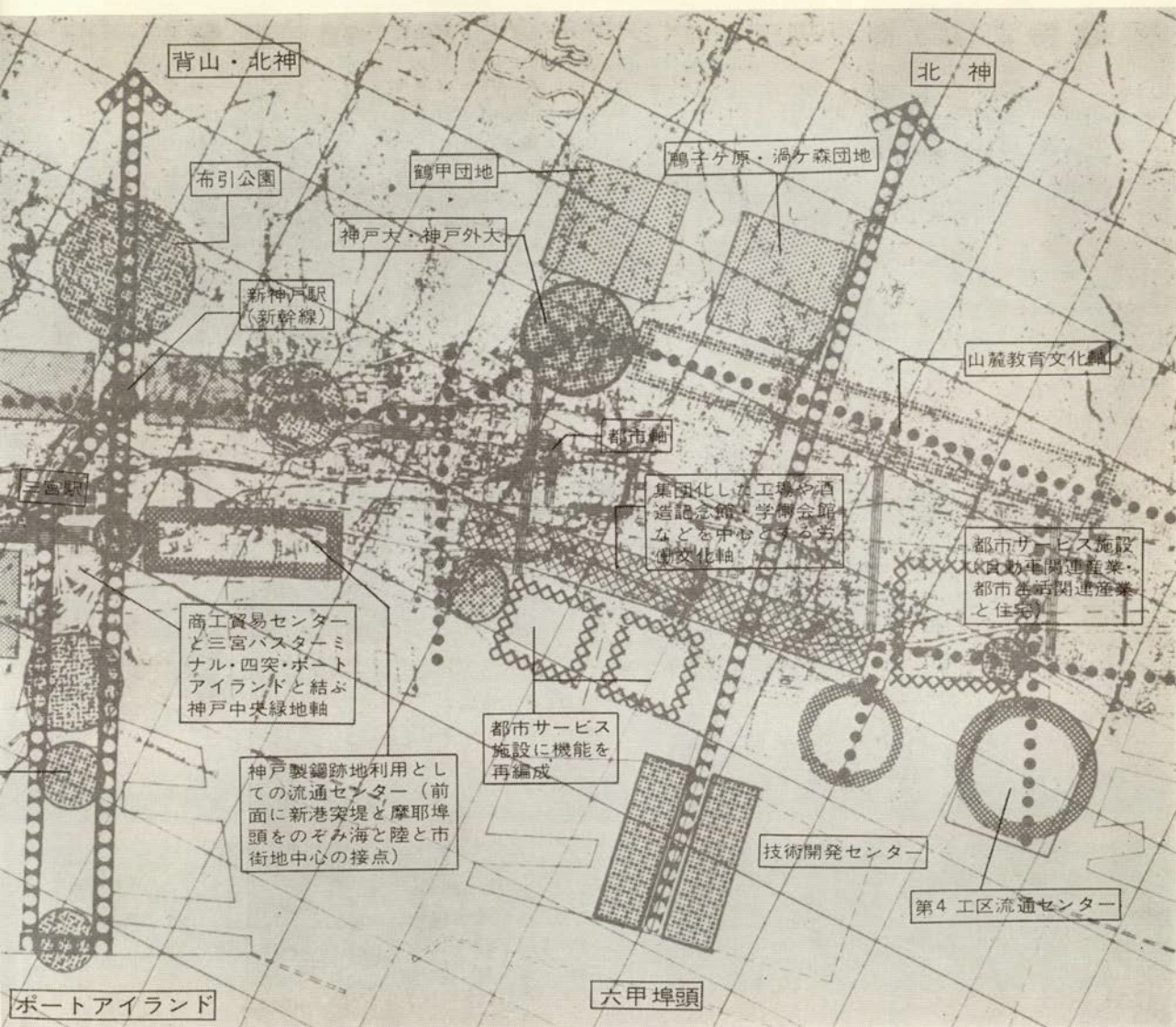
▲ 商工貿易センタービルから高速道路・三井倉庫・第4突堤・神戸大橋・ポートアイランドをのぞむ

▼セクション



三井レンガ倉庫のリハビリテーション

三宮市街地中心と観光船ターミナル(第4突堤)ポートアイランドを結ぶペデストリアンデッキ(ガラスチューブ)と、倉庫の古いレンガ壁をそのまま残したガラス屋根のショッピングセンターの組合せ。港と街をつなぐチャームなクリスタルパレスとなる……。



神戸のウォーターフロント開発パターン

製作・チームUR

MESH 1km × 1km

白川ニュータウン

西 神

須磨ニュータウン

須磨緑地公園
と海浜公園

海に浮ぶ街
(レジャー施設を中心とした
フローティングタウン)

都市軸

兵庫運河の再利用
流通センター

須磨ヨッドハーバーと
長田フェリーボートを
結びつける海岸住宅地

兵庫運河

文化軸

神戸駅

海上公園

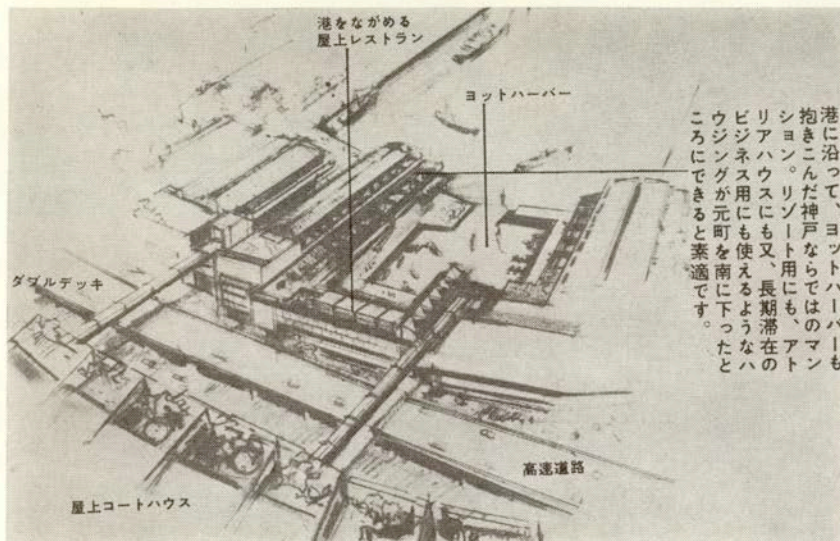
情報センター
(貿易)

研究センター
(海洋開発)

メリケン波止場・中突堤・
白産波止場と続く旧い突堤は
観光船発着だけでなく海に
接する公園として整備し、
高速道路をはさんで新しい
情報住宅が街のにぎわいを
ウォーターフロントにみちびく

● 特 集 / 神戸のモダンピング ③⑥—未来編— 海 ●

ウォーターフロント・ハウジング——チーム・UR

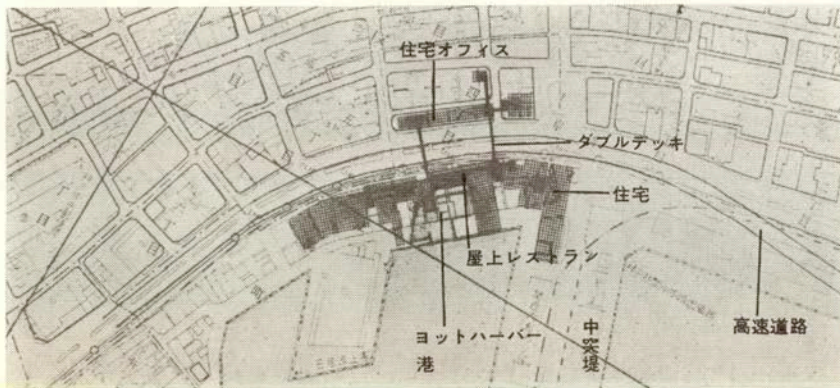


港に沿って、ヨットハーバーも抱きこんだ神戸ならではのマンション。リゾート用にも、アトリアハウスにも又、長期滞在のビジネス用にも使えるようなところでできると最適です。



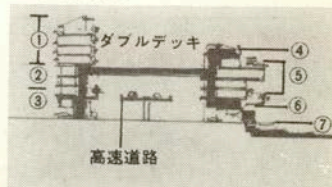
▲スケッチ

▼プラン



▲ ポートタワーから見た中突堤とメリケン波止場、今は、はしけだまりになっている。高速道路で分断された街と海

▼セクション



- ①住宅
- ②オフィス
- ③サービス施設
- ④屋上レストラン
- ⑤住宅
- ⑥ショッピング街
- ⑦ヨットハーバー

★技術ジャーナル ③5

電子映像技術

諸岡博熊
 〈神戸市企画局調査部副主幹〉

このたびの千里丘陵で開催される日本万国博は「映像の博覧会」と称せられている。それは、電子工学の進歩発展による情報システムの技術の展示であるからだ。したがって、万国博の閉会後は、家庭用の映像技術による情報機器システムの変化は目を見晴るものがあるうと想像される。例えば、家庭用ファクシミリ（電波新聞）、電子ショッピンク装置、個人用ティーチング・マシン、立体テレビ、テレビ電話、超小型コンピュータ、お手伝い家事用ロボット、自動調理装置、VTR……。いま、はやりのMIS（企業のマネジメント・インフォメーション・システム）に対する家庭用インフォメーション・システムである。

× × × × ×
 カラー・テレビの普及は一九六〇年代から七〇年代

にかけ、文化の量・質ともに大きな変化を与えた。さらに、七〇年代は万国博の影響をうけ、映像技術ともに、電波の搬送技術の革新によって、テレビのチャンネル数が飛躍的に増加する。さらに、半導体化、平面型化による価格の低下などで、テレビがマスコミからミニコミへの質的な転換をする。かくて、映像技術の開発が進むと

① 映像を画面にあらわす
 ディスプレー技術

② 映像を記録しておく
 像記録技術

③ 映像の新しい伝送・記録技術としての家庭用ファクシミリ技術……が、家庭用情報システムとして花開くこととなる。

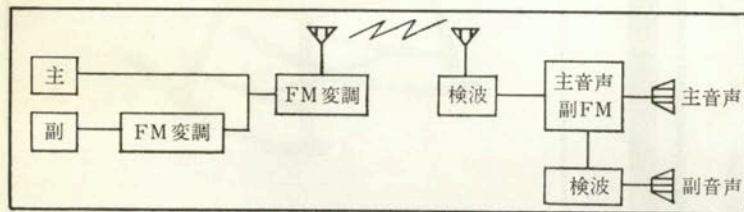
× × × × ×

◇ディスプレイ装置——

エレクトロ・ルミネッセンス(EL)、注入型EL、アイドホール、液晶、レーザー・ディスプレイ、プラズマ・ディスプレイなどが万国博で展示されることだろう。とくに、レーザー・ディスプレイは電力館その他で豊富に応用される。

◇映像記録装置——

VTR（ビデオ・テープ・レコーダー）から録画機能を取りさり、再生機能だけをもつVTP（ビデオ・テープ・プレーヤー）や、磁気テープを使用しない新しい映像再生装置EVR（エレクトロニク・ビデオ・レコーダー）さらには、ホログラフィー技術を利用した映像再生装置SV（セクター・ビジョン・カラー）



〔音声多重放送の仕組み〕

—— ビニール・フィルムにホログラムの形で記録した映像をレーザー光で再生、この再生像をテレビカメラでとらえ、テレビ画像にする方式——などが、電気通信館その他の企業館で展示されることとなっている。

◇ファクシミリ装置——

VTRが家庭用として普及すると同時に、この家庭用ファクシミリ装置も情報システムの一機器として発展することだろう。この装置は昨年、国内の二社が試作機を発表し、話題をまいた。電々公社は、手紙をファクシミリで送る時代の到来を万国博会場で展示することとなる。

◇その他—— 音声多重テレビといつて、万国博から、NHKは本放送を行なう。

それは、主音声は日本語で、副音声は外国語というステレオ方式で、音楽も楽しむことができる世界初の試みだ。さらに、SVのつぎは、ホログラフィー効果を利用しての立体テレビの出現と称されているが、はたして、どこか企業館がこれを展示するのか、楽しみの多いことである。

GENERAL  ELECTRIC

水屋兼用になる
大型冷蔵庫
特約販売中



輸入家庭電化製品

神戸唯一のGE特約店

輸入電化製品の
修理も致します

リイチ産業株式会社

三宮・トア・ロード TEL (078) 33-8673

人間味あふれた
手づくりの美しさ...



インテリアの



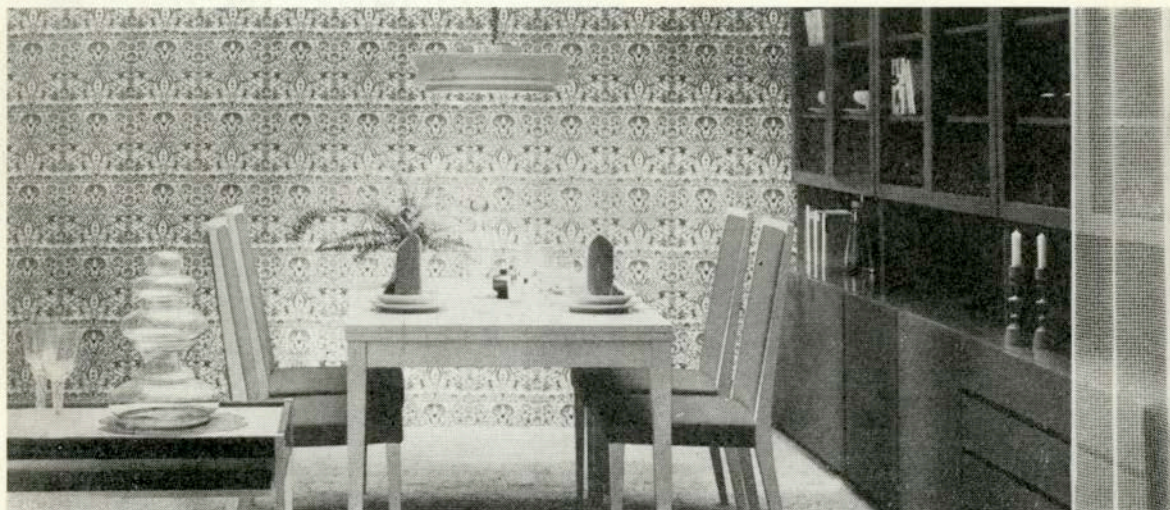
不二屋

ショールーム 神戸市生田区三宮町3丁目5番地
<トア・ロード> 神戸 (078) 39-0535 (代)

葎合工場 神戸市葎合区旭通1丁目10番地
小東山工場 神戸市垂水区多聞町小東山975ノ1

まいるーむ まいしょっふ

私達の生活において、光をもっと大切にしたいものです



朝焼けを見て神聖な気持ちになり
昼のふりそそぐ陽を浴びて生の実感を味わい
夕焼けを見て郷愁を感じる
月の光はロマンチックなムードを漂わす
美は私達の心にいろいろと語りかけてくれます

家の中においても現代文明は私達に
光を演出することを教えてくれました
明るい食卓でおいしい食事をし
やわらかい光の中で団欒のひとつきを過す
照明計画は部屋のムード造りに
大切な要素となります

Interior
riforme

インテリア イリフネ



入船株式会社木工部

神戸市灘区友田町5丁目2-2
TEL 078 (85) 3191~4

CINEMA

万博と映画

映画と実験



映画評論家

淀川長治

〈48〉

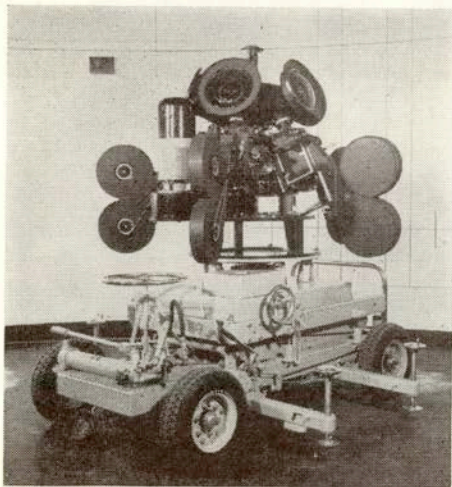
万博にいったいどのような新手法の映画ショウが提供されるのか私はまだ知らない。一月末現在それは知らされてはいない。

この万博での映画の新手法について私はテレビ会社からテレビを通じてそれらの紹介の役目を依頼されたが、私は映画は好きだが、映画科学のことは全くの無学のためにそれはお許しを願った。そのかわり映画がその新手法によっていかなるショウを見せ得るか、その効果その芸術価値についてのご紹介のお役目を引き受けた。

博覧会というものは、映画というような科学芸術にとってはまったくの好チャンスであって、日本人が外国から映画というものの驚異を日本に持ちこんだのも博覧会に提示され実験されたそれを見たのがもとということであって、明治二十七年（一八九四年）に荒木和一氏がキネトスコープを見物しそれを買求めんとしたがあまり

の高価であきらめて、それから二年、あきらめ切れなく再渡米して明治二十九年ヴァイタスコープを輸入という映画年表史のようなものの方がまだしも私には興味がある。それでその年に神戸のリネル商会というのがキネトスコープ二台を輸入し神戸神港倶楽部でその年の十二月に公開。これが日本での活動写真公開の最初たるはあまりにも有名。

その活動写真のものは一六〇〇年代にころみられたランプを使つての影絵から始まってガラス絵の幻燈、連続スライドの手回し、一八七〇年（明治三年）カリフォルニア州マイブリッジ農場でこころみられた二十四台の写真機をならべての走る馬の撮影。この連続映像の成功に次いで今度は人間が板の上を飛びはねる動きを三十台の写真機で撮影、さらに女が踊る姿を四十台の写真機でというように発展し、これが一八九三年のシカゴ博覧会のシネマ館で動く写真の目の魔法というような形で公開され、その一八九三年（明治二十六年）にはエジソンがニウ・ジャージーのウエスト・オレンジで最初の映画用スタジオ（ブラック・マリア）をすでに設けていたという。



〈アストロラマ〉ユニットカメラ

これが一九〇二年（明治三十五年）ともなると早くも蓄音機のレコードによる発声活動写真が考案され、一駒ごとに手で色彩をほどこすカラー映画へのところみも行われたのであった。

やがて一九二四年（大正十三年）リー・デ・フォレストの試作トーキーがニューヨークで公開、これはフォノフィルムと名づけられ大正十四年七月日本でも公開された。このころになると私もこの目の耳でこれを見たわけ、そのときのプログラムは

①フォノフィルム説明②サキソフォン独奏③④ダンス⑤オーケストラ⑥歌劇「椿姫」⑦バンジョー独奏⑧ダンス⑨エディ・キャンターの軽る口⑩ダンス⑪木琴独奏⑫クリップ⑬大統領演説⑭オーケストラ⑮ヴァイオリン独奏⑯ダンス当時の入場料としては高額の五円が一番席であった。（神戸では聚楽館で公開）

かくて一九五二年（昭和二十七年）シネラマが生まれ、三台の映写機を用い多数のスピーカーを配置して立体音響を生んだあたりからはすでにご存知どおり。話が前後する

がフォノフィルムがフォックス社によってフィルム式トーキー（ムービートーン）として完成したのが一九二七年（昭和二年）その前年にウォーナー社がレコード式のヴァイタフォンで一足さきにトーキーのスタートを切り、一九三五年（昭和十年）に三原色法テクニカラーで最初の本格的色彩に成功。それより以前すでに一九三二年（昭和七年）デイズニーがこのテクニカラーで色彩動画に着手成功。

全天周映画 みどり館<アストロラマ>



シネラマの12倍もあるドーム型スクリーン
総面積約2,000平方メートル
スクリーンスペースは世界最大

やがて一九五三年（昭和二十八年）シネラマよりさらに実用向きのシネマスコープが生まれ、私はこれの世界最初の公開が二十世紀フォックスのスタジオ内でも公開されたのをそのスタジオで多くのスターや監督たちや世界の映画人と共に見物したのであったが、スターも監督もその初公開には胸ときめかし驚きの目を輝かしていたのを昨日のように記憶しているのであるが今から思えば何とも奇妙な感じである。

これに前後して3D（スリイ・ディメンション）という立体映画が公開。これはしかしポラロイドの二色レンズでめがねを用いてみなければならぬ不自由ゆえに、映画館には不適當して一年余りで姿を消した。じっさいこれを見るやスクリーンの男から投げられた槍がとび出し、煙がスクリーンからこちらにひろがり煙にむせる思いをするほどの実感はあったもののめがねを用いねばならぬことと立体画面があたかも逆に鏡のごとき異様な感じよくで失敗。このあと香りを放つ映画が実験されたが、香りといったものが

場内にただようことが次のシーンの邪魔となりこれも失敗。映画がこのように芸術への一歩手前にあってはどのように科学地獄の苦闘をくりげ、それがとくに世界博覧会のような舞台をチャンスにさらに躍進するわけで四方八方がスクリーンのソビエトのシルクラマその他もろもろの手法がさらにいよいよ来たるべき万博にその奥の手を見せる楽しさを私は子供のように期待する。

神戸遊戯誌 78

神戸ボーガンクラブ会員



小松原正直氏



北川祐三氏



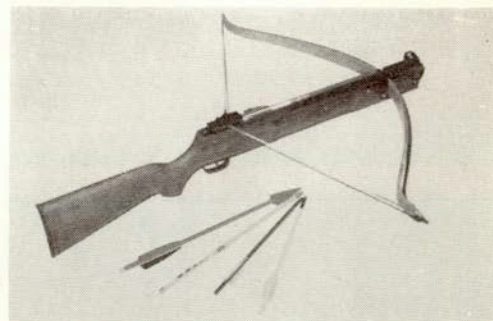
酒井裕雄氏



松下浩氏



小林誠吉氏



ニューパワーフィールド BPN-M型

ボーガン ② 青木重雄

★今夏グワム島などで競射会

近ごろボウガンが日本のテレビにも登場するようになった。シリーズものの「ガードマン」に出ていたことがあるし、先般どこかのテレビ番組にいわゆる狩猟用ボウガンの活躍風景が映写されていた。多くの青年男女が手にボウガンを持って草原で野ウサギなどを追っかけるシーンだが、矢はなかなか当たらないものだ。いきものの命中はかなりむずかしく、小鳥などはとりわけむずかしい。せいぜい野ウサギぐらいだという。この時も一匹に命中したらしいが、ちょっとかわいそうだった——なんていうとボウガン会員から怒られるかもしれないが、動いている対象の射撃は非常にむずかしい。なぜなら、元来ボウガンはその射撃方法からいって弓よりもむしろライフル射撃に似ているわけだが、発射されるものが弾丸ではなく、矢であるからである。つまり、ライフルの場合は引鉄をしぼるとほとんど同時に弾丸は銃身を通過して、銃口を離れている。ところが、ボウガンはライフ

ルに比べて発射速度が遅いうえに(80ポンド弓を使用して75メートル/秒)、銃弾に比べて矢が非常に長い。この引鉄をしぼり終えてなお瞬時、矢がレール上を走っている時間を忘れては命中度はぐっと悪くなる、そのうえ操作にかなりの力が必要なのも条件の一つ。この辺にボウガン射撃のむずかしさがあるわけだが、それだけに単なる娯楽としてより以上に精神練磨のスポーツといわれる素因ともなっている。

ボウガンはいうまでもなく、弓をストック(ガン式の本体)に装着し、弦をマガジン(機関部)に引き込んでロックし、アロー・スライディング・レールに矢を装填して発射するわけだが、弓には40ポンド(最大射程180メートル、有効射程10—20メートル)、60ポンド(最大220メートル、有効20—30メートル)、80ポンド(最大250メートル、有効30—50メートル)、100ポンド(最大300メートル、強力狩猟用弓)、さらに強力なアメリカ製の輸入弓など多種類ある。なお、材料は銃身は鉄砲と同様クルミ材と合金で作られ、弦はダクロンという化繊を使って

いる。このうち狩猟用と競技用におもに使用されるのは80ポンドと100ポンド弓だが、競技用のうち基本標的射撃競技（基本ルール）では、普通置一枚（一疊）に40センチ標的（五色の同心円帯に分かれ、中心点は金色）紙四枚を張りつけて一ターゲット（射撃）とし、各的ごとに矢（太さ6ミリでアルミの矢が一番効果的）を三射し、四的合計一二射を二回繰り返し、合計二四射を一ラウンドとして適中点合計を得点とする。ただファールは射ち返せることになっている。このほか一般射撃、一発射撃、限秒射撃、多発射撃競技などもある（以上日本ボウガン協会、標的射撃競技規則）。射ち方には丘射、膝射、伏射のほか平行だけでなく、五体的に上から下へ射（うちおろす場合）といういろいろあるが、はじめのうち熱心に習えばだれでも簡単に射てるようになる。たとえば、初心者でも20メートルぐらいの距離から40センチ標的に全部命中させることも可能である。ただ、かなりのベテランでも中心点に連続命中させることは至難のわざで、これには高度の技術と充分な練習が必要なわけだ。だが、これが可能になってこそボウガンのダイゴ味を本当に味わえることになる。ところで、技術にはクラスがあって、級で段位がつけられているが、試合のとき（一ラウンド24射）に七、八級は的までの射撃距離が5メートル、五、六級は10メートル、三、四級は20メートル。一、二級は30メートルと差がつけられている。しかも、24射のうち七、八割は当たらずと失格することにきめられている。

さて、わが国ではまだスポーツとしてもレジャーとしてもこれからの遊戯だが、現状ではやはり東京が一番盛んで、つづいて関東、京阪神、福岡などの順で、これらの各地にはすでに東京の日本ボウガン協会と関係をもつボウガンクラブが作られていて、それぞれ活動を開始しているが、会員だけで全国に約二千人はいるといわれている。神戸ボウガンクラブはまだ二十余名の会員だが、兵庫県全体としては個人的にやっている人もいれて百人以上はいるらしい。神戸以外では加古川、尼崎、姫路などに

ファンが多いが、年齢はやはり20歳前後が多く（神戸ボウガンクラブの会員中には六十歳の最高年齢男子もいるが）、職業では学生、会社員、その他となっており、女性が多と見られないことは寂しい。また、神戸の中山手に任むロバート・マーチンさんというアメリカ人もファンで、100ポンドの強力弓を使ってやっているそうだが、命中率は高かったことはない。同クラブではまだボウガンの紹介活動を兼ねて会員をふやしている現状だが、それでも全国的な競技会にはすでに会員が参加してかなりの実績をあげている。たとえば、昭和43年8月グアム島での野ブタ狩猟会と44年8月の八丈島観光射撃会に参加したが、後者は小林誠吉、酒井裕雄、小松原正直、藤原悦子の四名が名乗りをあげ、小林は8位、酒井は10位となった。ことは早くも1月4日に諏訪山神社内で事初めの射撃会を開いており、8月にはサイパン、グアム、ロタ、沖縄で射撃会が開かれるはずでこれらにも何名か参加することになっている。国内での公式射撃会もことしぐらいから盛んになるようだから、会員はじめ県下のファンの熱意もいっそう高まるだろう。こうして今日まで欧米諸国中心に開かれていた国際試合に日本が参加する日も間近い状態となっている。

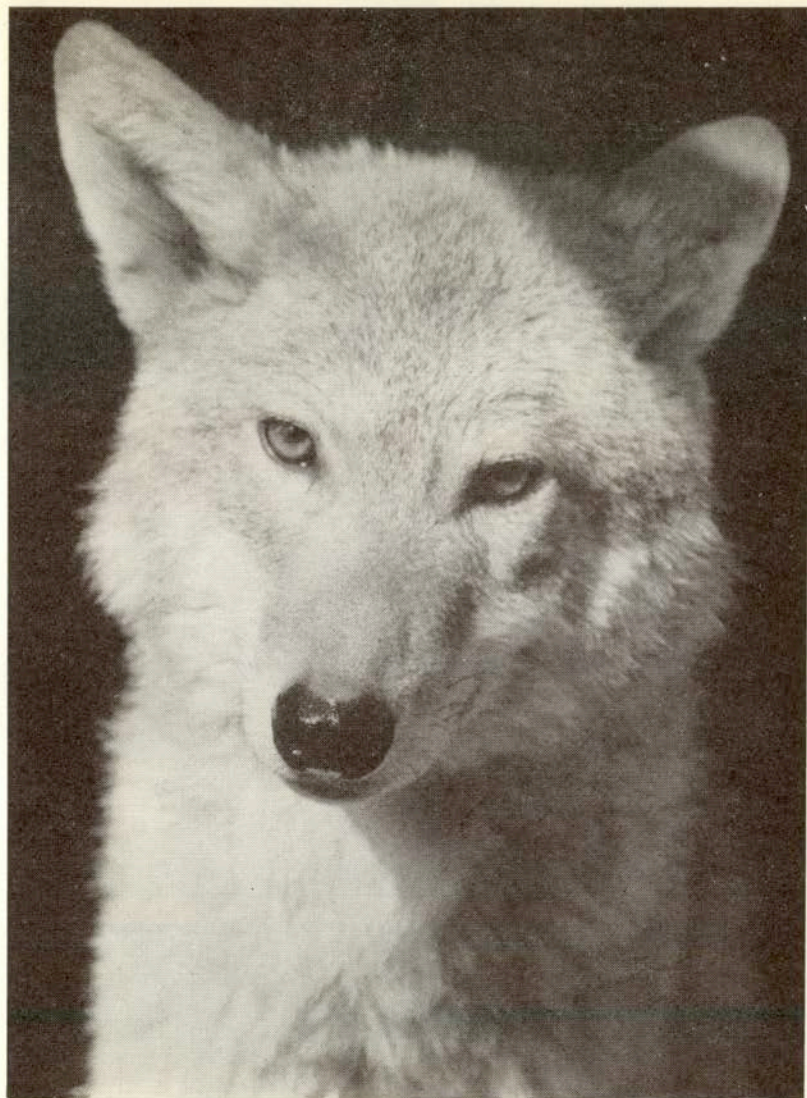
ボウガンはまた陸上だけではなく魚をとるために海でも使われているが、射ち損ねると矢一本代六百円の損となるから高くつくわけだ。ほかにスキーと併用して狩猟に使われたり、皇居内ではカラス退治にも使われているが、ネクタイをしめてとりに行くのでやりきれないとこの声も聞かれるそうだ。他方アフリカなどでは象などの野獣の保護のために麻酔入りの矢を使って、音のしないボウガンが重宝がられている。このようにスポーツとしてもレジャーとしてもさらに実用的にも用途の多いボウガンの日本における今後の健全な発展が期待されよう。

(45・1・19記)

注 神戸ボウガンクラブ会員の 小松原正直、酒井裕雄、松下 浩、小林誠吉、北川祐三諸氏の御協力ありがとうございました。

動物園飼育日記 — 46 — 亀井一成

闇夜のシベリヤオオカミ



この顔にオオカミの血が流れているとは思えないが……

オオカミの恐ろしさは、いつたん獲物ときめつけたら何処までもつきまとい、相手が疲れ果てるまで追い回すことだ。それも必ず大勢の群で四方から襲いかかる。

その上何時の場合も、食いきれなくても、追いつめた獲物の群すべてを狂気のように殺してしまわないとおさまらない。

そのような殺し屋の血が流れるシベリヤオオカミが、大年にちなんて神戸にやってきた。ライオンやトラに咬まれたという事故はなくても、むしろハイエナやオオカミに手を咬みちぎられたという事故の方がよくある。



オオカミにおびえる隣のキツネ

そこでいくら当り年とて、ヒトさまに咬みついても大変である。いつたん予定していた檻に入れたものの、夜行性の彼は、夕暮れになるとがらりと変身。檻の周囲の金網を噛みはじめた。なんとか脱走口を開けようというのだ。それも私たちの姿が見えなくなるとたんに行動に出る。その上与えた餌は、その場では口にもしないくせ、何時の間にか敷わらの下にせっせと隠してしまう。その間にふるまうヤクザ振りに安心ができず、とうとう檻の補強を一昼夜かけて行った。

しかし、こんどは、運動場に出たまま、二度と寝部屋に入らなくなった。鉄格子はあっても、屋外の方が隠々とした深夜の冷気が、彼に生気をよみがえらせるのだろうか。何日も屋外に出たままの飼育が続き、かえって食欲を増し、毛並さえよくなってきた。

ところが不思議なことが起きはじめた。同じ棟で隣り合せのタヌキやキツネ、アライグマまでが入室を嫌いはじめた。つまり入室拒否の統一行動だといわんばかり。まるで口を揃えたように、オレたちもオオカミ同様、夜も運動場であそばせろ、というのである。

そこで深夜の彼等の行動を探ることが幾回となく続けられた。その夜は折り良く快晴、しかも月明りであった。屋外に出たタヌキ全頭が運動場中央にまるく寄り集って眠っているのだ。

しかもその内の一、二頭が常に起きあがり付近の警戒に当たっている。確かにタヌキは昼間は穴ぐらで姿を見せないものだが、馴れてくると平気で人前でも寝るようになる。

面白いのは、夕暮れ頃になると全てのタヌキが一面に次々と顔を揃え寄りかたまっては、何かとさわぎ、夜明しさえる習性だ。

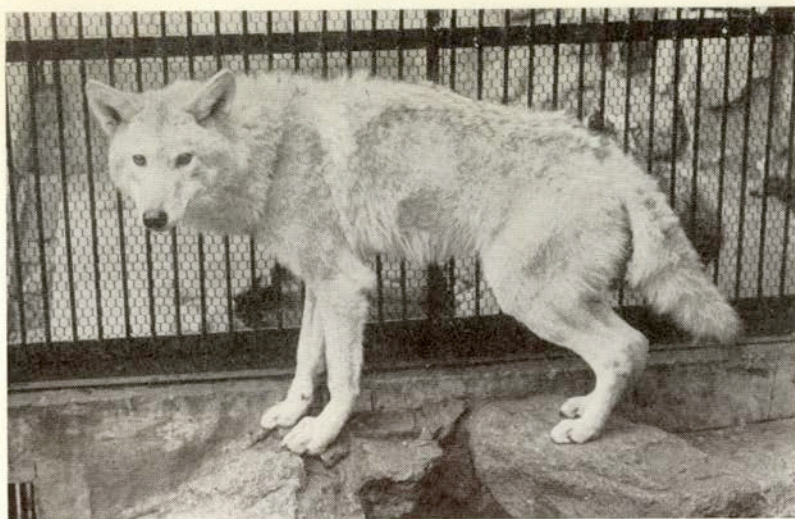
しかもタヌキの群の中に一頭のキツネを同居させていたが、一回り大きな体力でタヌキの一群を支配し闘争するようなことは全くなかった。ところが、オオカミの登場以来、金網越しに見えるオオカミの体力と気力に圧倒

されたキツネが、目に見えて衰えはじめ、タヌキの若者グループにさえ追われる運命になりさがった。

餌のことから始まった闘争の末、三頭のタヌキに敗北し、生きることさえむずかしくなったのだ。

そこで弱りきったキツネを隣室へ離してやったが、オオカミの睨みに今も消沈している。

さてこのように書けば、まるでオオカミは冷酷な殺



おとなしそうなオオカミも夜になると豹変する

し屋”だとしかいえないが、これでいてなかなか我子に對しては大変な愛情をかたむける。一説によれば、一度きまったオスとメスは相手を変えることがまずないといわれ、飼いだなど違い、貞操はいたって固いという。そのほかいろいろと、見かけや、その生活のしかたには、犬科としての共通している点が多くある。例えば、群で獲物を追いつめて行くこともそうだし、鼻で獲物を探りあてることも犬属の特質だ。ところが犬は加勢を集める意味もあってやたらと吠えつくが、オオカミは、意外と無表情に唸る程度であまり吠えない。

また面白いことは奇妙に飼犬にたいして親しみをみせるようだ。それが証拠に野良ネコはめったにオオカミやキツネのオリの付近に姿を見せないが、野犬は平然とオリ越しに鼻をすり寄せるほど近ずいては立去っている。

さて、このようなオオカミの恐ろしさは、今あらためて書きたてた私よりも入園者の方がよく御存知で、“咬みます。柵の中にはいるとあぶない”の注意書きも効めがあるのか、さすがは、やたらと柵をのりこえるいたずら者はいない。

ついでのことながら、ここで一言、オオカミのために弁明してやりたい。いくら殺し屋だとのしられても彼等の行為は、あくまでも生きるがため、飢を満たすためのものが主で、何の理由もなく、楽しみや、利益のためにシカやウサギを殺すヒトさまとは、まるでちがうのである。

終りにハイエナとオオカミとは混同されやすいが、オオカミは犬科だが、ハイエナは犬に似ていても犬の仲間ではなく、むしろ、じゃこうネコに近い動物。前後肢とも指は四本、歯もネコ科に似ており、噛む力が強大でライオンなど猛獣の食べ残しを骨ごと食べるほど、どんな生活をする。犬科のオオカミは、指は前肢五本後肢四本ある。

桃

の節句に
カメヤの風雅な
お雛さまを…



おもちゃの

カメヤ

三宮方面でのお買物は………
 さんちか店 ファミリータウン 034045
 三宮店 センター街大洋劇場東隣 034969
 元町方面でのお買物は………
 元町店 元町通3丁目山側 030090
 バンブウ店 元町通1丁目不二家前 030768

洒落たセンスでご好評

頂いておりますサノヘが4月上旬

‘70秋冬ものフランス・モード・ショー

を開催致します。ご期待下さい。



閉店後も夜のウィンドーショッピングをお楽しみ下さい

〈若いハイセンスな女性を求む〉

舶来雑貨



元町店・元町2丁目 TEL (33)4707~8
 そごう店・3F 特選サロン
 大阪店・阪急百貨店2階服飾品売場

●おしゃれ・たいむ

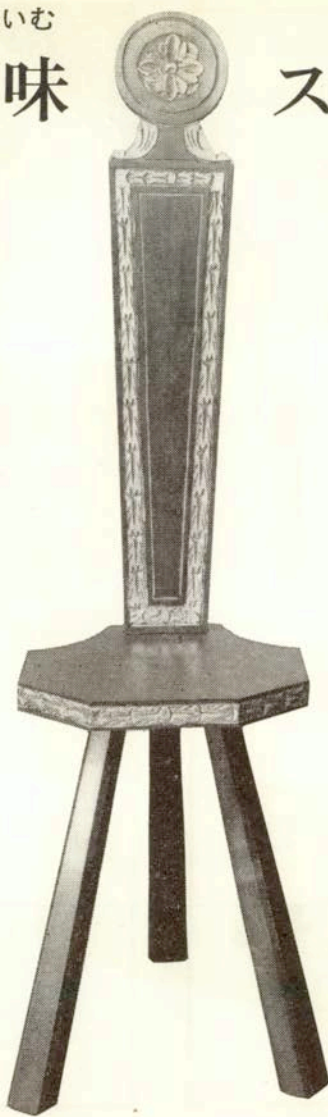
手づくりの味

スペインの家具

最近のモダン・リビングには、マンションずまいの人々が急に増え、ルームインテリアに欧風家具をとり入れて暖かい部屋づくりを好む傾向があります。

アメリカの商人が、スペインへにかけて、古いスペイン家具を田舎へにかけてさがしだして売っていることが、三年ぐらい前から流行しているそうです。ちょうど日本の現代人が最近になって田舎へにかけて民芸品の家具をあさってくるのに類似していますが、これも戦後二十数年、団地化、マンション化する住まいに、余裕ができて、あらためて日本のよさを考えなおし、情趣豊かなものを住まいにとりいれ、精神面の豊かさをおきなおうとしているようにも思えます。

さて、このアメリカにも流行中の古いスペインの十七世紀頃のルネッサンス様式の家具が、トア・ロードの靴と舶来雑貨の「クロス」に到着しました。素材はカバの木で日本の桜と同じぐらいの固さ。ガンジョウで手づくりの家具には素朴な味わいと重厚な気品がどこなく感じられます。椅子などには最近製作のものも多いのですが、飾り柵や机には古い十七世紀そのままのクラシックな風合を持ったものもあり、鈍い光りを放っています。「クロス」は二月末から従来の一階に加えて、新しく二階



にミニチュア・インテリアを集め、豊富な舶来商品をゆくり選ぶことができるようになりました。なかでもことにこれら左のスペイン家具は予約でやっと到着した逸品もので、彫りもなかなか面白味があり、スペインの十七世紀へといざないます。

×

×

×

「クロス」といえばスイスのバリーシューズ。新しくブルーグレーのじゅうたんのしきつめた二階のサロンに春もの、夏もの、秋ものが揃いました。今年のバリーの傾向は、紳士ものでは、今まで黒が多かったようですが茶が出てきました。そしてネクタイと靴のアンサンブルというおしゃれ紳士にぴったりの新作もあります。

婦人ものはシューズアクセサリーがゴールドからホワイトになり、やや靴の先が丸いものから少し細っそりと上品にとがってきたようです。しかしカカトはあいかわらず太目というところ。ハキダオレ神戸っ子にとってチョッピリ気になるバリーシューズの春夏の情報です。

春のおでかけにトア・ロードクロスのウインドーをのぞかれてはいかが？

靴と舶来雑貨

クロス

神戸トア・ロード TEL 09 1781440

さんちカレディスタウン TEL39-2562

大阪阪神百貨店 TEL 361-1201





* べにや
young
pocket





あなたと共にファッションの世界を創造する……

LADIES SHOP

Beniya

KOBE—OSAKA—TOKYO

フラワーロードの昼下りは紫と緑のロングコート。
青い花が勾う部屋に、黒を着てみたい春の夜。



★神戸 / 三宮センター街
ベニヤ

PHONE: 39-5528 / 9

★神戸 / 三宮ニチイ 2F
ヤングポケット ベニヤ
PHONE: 33-9824 / 5

★さんちかレディス・タウン
ベニヤ

PHONE: 39-1204

★大阪 / 上本町近鉄百貨店 3F
ヤングフティック ベニヤ
PHONE: 779-1231

★大阪 / 梅田阪急三番街
ヤングフティック ベニヤ

PHONE: 372-8093

★東京 / 日本橋東急百貨店 3F
ベニヤ
PHONE: 211-0511(代)内線388

